

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シスウェーブホールディングス
 コード番号 6636 URL <http://www.syswave-hd.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮嶋 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 田口 伸之介

TEL 044-738-2470

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	742	20.6	△292	—	△434	—	△439	—
25年3月期第2四半期	615	△18.8	△219	—	△217	—	△221	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △436百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △221百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△78.72	—
25年3月期第2四半期	△77.06	—

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株当たり10株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,690	75.4	2,028	75.4	—	—
25年3月期	1,177	74.1	872	74.1	—	—

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,028百万円 25年3月期 661百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,050	55.2	100	—	80	—	80	—	14.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行った影響を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名)
 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	10,372,410 株	25年3月期	3,310,230 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	167,490 株	25年3月期	167,490 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	5,577,763 株	25年3月期2Q	2,872,740 株

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して上記の株式数を記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- (2) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株当たり10株の割合で株式分割を行っております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）の世界経済は、米国では緩やかな回復基調が続いたものの、中国など新興国における経済成長の減速などから、景気の下振れリスクは依然存在しております。

わが国においても、政府の景気対策や金融緩和などにより円高は是正され、株式市場も上昇傾向になるなど、緩やかながら回復基調で推移いたしました。一方、個人消費においては消費者マインドの冷え込みは続いており、消費税増税を前に予断を許さない状況にあります。

このような状況の下、当社グループは中期経営計画として「SWアクションプラン2014-2016」を掲げ、半導体関連事業の再構築をおこなうとともに、エネルギー作物であるスーパーソルガムの種子の販売、その搾汁液を活用したバイオエタノール、液糖プラント事業、搾り滓を活用したバイオマス発電事業及びサイレージ（家畜用乳酸発酵飼料）事業など、安定的な利益創出の中核としてバイオ燃料事業の立ち上げに取り組んでおります。

インドネシアにおいては、株式会社ヌサンタラプランテーション研究所とバイオ燃料の共同ビジネス展開に関する契約の締結や、株式会社サミラナ・スーリャ・セメスタとの間でインドネシアにおけるスーパーソルガム種子を活用したバイオマス発電プラント、ソルガム糖液プラント及びバイオエタノールプラントの建設、並びにソルガム農場の事業化に係るジョイントベンチャー契約を締結し事業化を推進しております。

インドネシア以外でも、メキシコにおいては大規模農業法人と液糖用スーパーソルガムの栽培及びその搾り滓をサイレージ（家畜用乳酸発酵飼料）として販売することを前提に商用栽培実験を開始する予定です。

また、オーストラリアのクイーンズランド州においては、スーパーソルガムのデモンストレーション栽培を開始し、新たな顧客及びパートナー企業の開拓を行ってまいります。

なお、半導体関連事業におきましては、従来より特定大手取引先への依存度を下げるべく、新規顧客の拡大に向け当社グループの技術を集約したプラットフォームの開発に取り組むとともに、原価低減、販管費抑制に努めておりますが、各メーカーの設備投資の手控えが未だ継続しており、本格的な回復には至らず厳しい状況で推移いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は7億42百万円（前年同期比20.6%増）、損益につきましては、新規事業であるバイオ燃料事業の立ち上げに係る費用の発生等が影響し、営業損失は2億92百万円（前第2四半期連結累計期間は営業損失2億19百万円）、また、ライセンス・オフリングに関する一時的な費用の発生等により、経常損失4億34百万円（前第2四半期連結累計期間は経常損失2億17百万円）となり、四半期純損失は4億39百万円（前第2四半期連結累計期間は四半期純損失2億21百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は26億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億18百万円増加いたしました。流動資産は15億63百万円となり6億54百万円増加いたしました。主な要因は、前渡金の増加6億45百万円及び仕掛品の増加46百万円によるものであります。固定資産は11億26百万円となり6億64百万円増加いたしました。そのうち、有形固定資産は65百万円となり25百万円増加いたしました。無形固定資産は8億17百万円となり7億33百万円増加いたしました。主な要因はのれんの増加6億

18百万円によるものであります。投資その他の資産は2億43百万円となり94百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は6億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円減少いたしました。流動負債は6億32百万円となり69百万円減少いたしました。主な要因は、短期借入金の減少1億20百万円及び買掛金の減少23百万円によるものであります。固定負債は29百万円となり22百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は20億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億66百万円増加いたしました。これは、当第1四半期連結会計期間中の新株予約権の行使及び当第2四半期連結会計期間中のライツ・オファリング（ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て）の権利行使による資本金及び資本剰余金の増加18億3百万円と当連結四半期純損失4億39百万円の計上によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の48.2%から75.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月16日の決算発表時に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	350,515	351,247
受取手形及び売掛金	274,963	223,717
商品及び製品	13,112	12,579
仕掛品	25,545	71,731
原材料	14,475	14,426
前渡金	115,514	761,025
その他	115,074	129,144
流動資産合計	909,202	1,563,872
固定資産		
有形固定資産	40,533	65,660
無形固定資産		
のれん	39,314	657,549
営業権	27,480	145,833
その他	16,839	13,707
無形固定資産合計	83,633	817,090
投資その他の資産		
関係会社株式	206,625	170,503
その他	131,601	73,440
投資その他の資産	338,227	243,943
固定資産合計	462,394	1,126,694
資産合計	1,371,596	2,690,566
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,957	3,288
短期借入金	503,000	383,000
未払法人税等	5,423	3,693
受注損失引当金	17,354	5,625
賞与引当金	—	29,661
その他	149,711	207,554
流動負債合計	702,446	632,823
固定負債		
資産除去債務	4,779	10,269
その他	2,361	19,145
固定負債合計	7,140	29,414
負債合計	709,587	662,238

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	435,676	1,337,277
資本剰余金	385,562	1,287,163
利益剰余金	△78,595	△517,694
自己株式	△82,980	△82,980
株主資本合計	659,662	2,023,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,588	2,383
為替換算調整勘定	—	2,178
その他の包括利益累計額合計	1,588	4,561
新株予約権	758	—
純資産合計	662,009	2,028,328
負債純資産合計	1,371,596	2,690,566

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	615,214	742,180
売上原価	504,183	590,565
売上総利益	111,030	151,615
販売費及び一般管理費	330,361	444,180
営業損失(△)	△219,330	△292,565
営業外収益		
受取利息	1,398	734
受取手数料	794	1,088
雑収入	225	642
労働保険料還付金	—	1,143
営業外収益合計	2,418	3,608
営業外費用		
支払利息	612	4,080
株式交付費	—	101,744
持分法による投資損失	—	37,317
その他	—	2,869
営業外費用合計	612	146,011
経常損失(△)	△217,524	△434,969
特別利益		
固定資産売却益	—	100
特別利益合計	—	100
特別損失		
固定資産除却損	8	392
特別退職金	—	1,200
特別損失合計	8	1,592
税金等調整前四半期純損失(△)	△217,532	△436,461
法人税、住民税及び事業税	4,614	1,658
法人税等調整額	△771	978
法人税等合計	3,843	2,636
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△221,375	△439,098
四半期純損失(△)	△221,375	△439,098

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△221,375	△439,098
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	2,178
持分法適用会社に対する持分相当額	—	794
その他の包括利益合計	—	2,972
四半期包括利益	△221,375	△436,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△221,375	△436,126

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社が平成24年11月5日に発行いたしました当社第1回新株予約権に関し、平成25年4月18日の権利行使をもって、当該新株予約権の全ての権利行使が完了した結果、資本金が70百万円、資本剰余金が70百万円それぞれ増加しております。また、当第2四半期連結累計期間において、ライツ・オフアリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)の権利行使により、資本金が8億31百万円、資本剰余金が8億31百万円それぞれ増加しております。その結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が13億37百万円、資本剰余金が12億87百万円となっております。

(重要な後発事象)

株式の分割及び単元株式数の変更

当社は、平成25年9月6日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年10月1日付で、普通株式の株式分割及び単元株制度の採用を実施いたしました。

1. 株式分割の目的

全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」(平成19年11月27日付)の趣旨に鑑み、当社株式を上場している証券市場の利便性や流動性の向上に資するため、当社普通株式1株につき10株の割合をもって分割するとともに、当社の普通株式に係る単元株式数を現行の10株から100株に変更いたします。なお、この株式分割及び単元株式数の変更に伴う投資単位の実質的な変更はありません。

2. 株式分割の概要

(1) 分割により増加する株式数

分割前の発行済株式の総数	1,037,241株
分割により増加する株式数	9,335,169株
分割後の発行済株式の総数	10,372,410株
分割後の発行可能株式の総数	12,000,000株

(2) 分割の方法

平成25年9月30日(月)最終の株主名簿に記載又は記録された株主の有する株式数を1株につき10株の割合をもって分割します。

(3) 分割の日程

基準日公告日	平成25年9月13日(金)
分割の基準日	平成25年9月30日(月)
分割の効力発生日	平成25年10月1日(火)

3. 単元株式数の変更

(1) 変更の内容

上記の株式分割の効力発生を条件として、単元株式数を10株から100株に変更いたします。

(2) 変更予定日

効力発生日	平成25年10月1日(火)
-------	---------------